

立花隆 著

立花隆

最後に語り伝えたいこと

大江健三郎との対話と長崎大学の講演

「負け続けてもいい。
自分の意思を持ち続けろ！」

反戦の思いを
学生にぶつけた
長崎大学での講演と、
大江健三郎氏との
対話など、未収録の
立花隆の
「肉声」を
発掘！

8月10日
刊行

定価 1760円
(10%税込)

内容紹介

立花氏が「どうしても最期に残しておきたい」と切望した遺作。未収録の「肉声」を中心に編集。

【第一部】は、ヒロシマ、ナガサキ、アウシュビッツの恐怖をなんとかしてでも若い世代に伝えたいと、2015年に長崎大学で行われた講演「被爆者なき時代に向けて」と「デジタルミュージアム 戦争の記憶 構想」などを収録した。

【第二部】は、ソ連が崩壊した1991年に、21世紀を見通そうと大江健三郎氏と行った対談を収録。30年が経過したが、二人の巨匠は、この先ますます深刻になるであろう核拡散、環境汚染、人口問題、排外主義、格差拡大など地球規模の危機をびたり見通していた！

立花隆 Takashi Tachibana

1940年長崎県生まれ。64年、東京大学仏文科卒業後、文藝春秋に入社。66年に退社し、東京大学哲学科に学士入学。その後、評論家、ジャーナリストとして活躍。83年、「徹底した取材と卓越した分析力により幅広いニュージャーナリズムを確立した」として、菊池寛賞受賞。98年、第1回司馬遼太郎賞受賞。著書に『田中角栄研究 全記録』『日本共産党の研究』（講談社文庫）、『宇宙からの帰還』『脳死』（中公文庫）、『脳を鍛える』（新潮社）、『臨死体験』『天皇と東大』（文春文庫）など多数。2021年4月30日永眠。

◎取材など対応いたします

【連絡先】中央公論新社 ノンフィクション編集部

中西恵子

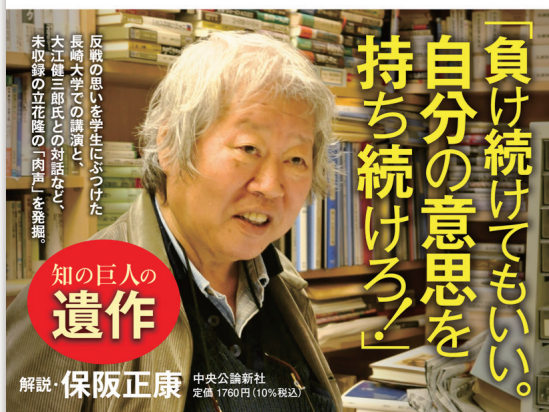
〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞ビル19階

TEL 03 (5299)1870 / 090 (3509) 3005

e-mail k-nakanishi@chuko.co.jp

立花隆
最後に
語り伝えたい
こと

大江健三郎との対話と
長崎大学の講演



知の巨人の
遺作

解説・保阪正康

中央公論新社
定価 1760円 (10%税込)